



2024年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月13日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス

上場取引所 東

コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 井本 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一

TEL 0898-23-2243

四半期報告書提出予定日 2023年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	4,708	4.8	361	16.7	417	19.5	265	9.9
2023年2月期第2四半期	4,492	2.8	310	61.0	349	36.1	294	87.0

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 317百万円 (4.1%) 2023年2月期第2四半期 331百万円 (83.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	287.83	
2023年2月期第2四半期	319.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	5,243	2,605	47.3
2023年2月期	4,914	2,390	46.9

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 2,482百万円 2023年2月期 2,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期		0.00		110.00	110.00
2024年2月期					
2024年2月期(予想)				112.00	112.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,220	0.3	620	1.4	715	0.3	310	4.8	335.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	953,600 株	2023年2月期	953,600 株
期末自己株式数	2024年2月期2Q	30,398 株	2023年2月期	30,326 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	923,257 株	2023年2月期2Q	923,348 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことに伴う外出機会の増加等を背景に、個人消費等を中心として景気は緩やかに持ち直しつつあります。

一方で、長期化する原材料費やエネルギーコストの高騰、記録的な円安水準、これらによる国内での急激な物価上昇などが続いております。

また、世界経済では、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、主要各国での金利上昇など、国内景気に影響を与える不確定要素が多数存在しており、今後の国内景気の見通しはまだ先行き不透明となっています。

そのような環境の中、当社グループは、リユース事業では、新規出店を支える体制づくりと経年劣化した既存店の改修を行いました。また、フードサービス事業では、モスバーガー店舗の改装を4店舗行いました。

当第2四半期連結累計期間は、店舗展開に増減はありません。

この結果、当社グループの店舗数はリユース事業97店舗、フードサービス事業29店舗、地方創生事業9施設、合計135店舗（地方創生事業9施設含む）となりました。

なお、リユース事業の「ハードオフ・オフハウス熊本帯山店」は、2023年5月26日に発生した火災事故の影響で、105日間の休業となりました（2023年9月8日に営業を再開しております。）。当該事故に伴い焼失した資産については保険金を受領しており、経営成績に与える影響は軽微です。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,708,131千円（対前年同四半期比4.8%増）、営業利益361,958千円（同16.7%増）、経常利益417,393千円（同19.5%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用が前年同四半期比で90,025千円増加した影響で、265,744千円（同9.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりであります。

(リユース事業)

ハードオフ事業・ブックオフ事業では、ハードオフ本部・ブックオフ本部の経営理念を現場で行動に移し、店舗運営のスタンダードを実現できる人材育成と継続的に新規出店を可能にする体制づくりに取り組みました。

この結果、売上高3,380,756千円（対前年同四半期比5.0%増）、セグメント利益（営業利益）554,484千円（同9.3%増）となりました。

(フードサービス事業)

モスバーガー事業では、店舗改装に取り組み新しいお客様のニーズに対応できるスペースづくりに取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響を特に受けたアルコール類を提供する店舗でも、客数の回復が見られました。

この結果、売上高1,179,620千円（対前年同四半期比4.1%増）、セグメント利益（営業利益）83,262千円（同8.0%増）となりました。

(地方創生事業)

新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなり、お客様にご利用頂き易い環境が整い始めましたが、世界的な資源高騰の影響を受け、エネルギーコストが増加しました。また、2024年、2025年の稼働を予定している複数の施設に対し先行投資を行いました。

この結果、売上高147,754千円（対前年同四半期比6.1%増）、セグメント損失（営業損失）80,622千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）70,405千円）となりましたが、経常損益では行政からの補助金収入及び受取負担金を営業外収益に36,133千円を計上した結果、経常損失42,191千円（前年同四半期は経常損失54,897千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて273,809千円増加し、2,474,451千円となりました。現金及び預金が228,889千円、商品が41,935千円それぞれ増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて54,863千円増加し、2,769,002千円となりました。有形固定資産が67,454千円増加したことが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて328,672千円増加し、5,243,453千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて6,509千円減少し、922,933千円となりました。買掛金が9,530千円、その他流動負債が9,862千円それぞれ増加し、1年内返済予定の長期借入金

が6,799千円、未払法人税等が19,103千円それぞれ減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて119,473千円増加し、1,714,675千円となりました。長期借入金が113,285千円増加したことが主な要因です。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて112,963千円増加し、2,637,608千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて215,709千円増加し、2,605,844千円となりました。利益剰余金が164,184千円、為替換算調整勘定が9,494千円それぞれ増加したことが主な要因です。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ228,889千円増加し、1,091,230千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、非資金項目である減価償却費の計上、行政からの負担金の受取り、保険金や収用補償金の受取りにより、483,331千円の収入(前第2四半期連結累計期間は318,206千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、投資有価証券の取得による支出、差入保証金の差入による支出、差入保証金の回収による収入、貸付金の回収による収入等により、252,913千円の支出(前第2四半期連結累計期間は273,085千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入、長期借入金の返済による支出、リース債務の返済による支出、配当金の支払額等により、22,382千円の支出(前第2四半期連結累計期間は48,008千円の支出)となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月14日に公表しました「2023年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	862,341	1,091,230
売掛金	128,605	126,439
商品	1,046,280	1,088,216
その他	164,874	170,057
貸倒引当金	△1,460	△1,491
流動資産合計	2,200,641	2,474,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	848,966	832,566
その他(純額)	573,877	657,731
有形固定資産合計	1,422,843	1,490,298
無形固定資産	38,135	36,337
投資その他の資産		
差入保証金	513,952	512,587
その他	759,722	748,919
貸倒引当金	△20,515	△19,141
投資その他の資産合計	1,253,159	1,242,366
固定資産合計	2,714,139	2,769,002
資産合計	4,914,780	5,243,453
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,676	78,207
1年内返済予定の長期借入金	275,594	268,795
未払法人税等	131,755	112,652
その他	453,416	463,279
流動負債合計	929,443	922,933
固定負債		
長期借入金	857,550	970,835
退職給付に係る負債	22,611	23,480
役員退職慰労引当金	117,116	122,741
資産除去債務	431,938	432,837
関係会社事業損失引当金	5,827	5,827
その他	160,158	158,953
固定負債合計	1,595,202	1,714,675
負債合計	2,524,645	2,637,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	1,726,142	1,890,326
自己株式	△70,275	△70,466
株主資本合計	2,266,881	2,430,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,460	27,997
為替換算調整勘定	13,966	23,461
その他の包括利益累計額合計	42,427	51,458
非支配株主持分	80,825	123,510
純資産合計	2,390,134	2,605,844
負債純資産合計	4,914,780	5,243,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	4,492,346	4,708,131
売上原価	1,578,067	1,641,279
売上総利益	2,914,278	3,066,852
販売費及び一般管理費	2,604,198	2,704,893
営業利益	310,080	361,958
営業外収益		
不動産賃貸料	23,800	26,676
受取負担金	11,443	10,102
受取協力金	11,402	—
補助金収入	2,208	26,030
その他	23,767	21,265
営業外収益合計	72,622	84,075
営業外費用		
不動産賃貸原価	25,223	24,660
その他	8,101	3,980
営業外費用合計	33,324	28,641
経常利益	349,377	417,393
特別利益		
収用補償金	—	23,861
特別利益合計	—	23,861
特別損失		
固定資産除却損	515	311
減損損失	5,220	—
店舗閉鎖損失	—	277
固定資産圧縮損	—	12,488
特別損失合計	5,736	13,077
税金等調整前四半期純利益	343,641	428,177
法人税、住民税及び事業税	51,753	86,427
法人税等調整額	△15,184	40,166
法人税等合計	36,568	126,594
四半期純利益	307,072	301,582
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,149	35,838
親会社株主に帰属する四半期純利益	294,923	265,744

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	307,072	301,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,741	△463
為替換算調整勘定	22,227	16,341
その他の包括利益合計	23,969	15,877
四半期包括利益	331,042	317,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313,701	274,776
非支配株主に係る四半期包括利益	17,341	42,684

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	343,641	428,177
減価償却費	87,532	94,860
長期前払費用償却額	5,979	6,726
減損損失	5,220	-
店舗閉鎖損失	-	277
貸倒引当金の増減額(△は減少)	433	△1,342
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,270	669
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,552	5,625
受取利息及び受取配当金	△1,384	△2,304
支払利息	4,571	3,711
受取負担金	△11,443	△10,102
収用補償金	-	△23,861
有形固定資産除却損	515	311
固定資産圧縮損	-	12,488
売上債権の増減額(△は増加)	△15,017	2,634
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,992	△64,593
仕入債務の増減額(△は減少)	9,233	5,233
その他	△55,179	6,163
小計	370,931	464,673
利息及び配当金の受取額	1,384	2,304
受取負担金の受取額	70,000	90,000
受取負担金の返戻額	-	△16,000
収用補償金の受取額	-	7,200
利息の支払額	△4,633	△3,760
保険金の受取額	-	63,471
災害損失の支払額	-	△2,777
店舗閉鎖損失の支払額	△708	△11,346
法人税等の支払額	△118,767	△110,433
営業活動によるキャッシュ・フロー	318,206	483,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△195,611	△178,252
資産除去債務の履行による支出	△11,220	△29,843
無形固定資産の取得による支出	△18,705	-
投資有価証券の取得による支出	△18,587	△48,607
長期前払費用の取得による支出	△37,681	△1,169
差入保証金の差入による支出	△8,040	△16,991
差入保証金の回収による収入	10,230	20,159
預り保証金の受入による収入	2,000	-
貸付けによる支出	-	△2,000
貸付金の回収による収入	4,530	3,790
投資活動によるキャッシュ・フロー	△273,085	△252,913
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	-
長期借入れによる収入	250,000	270,000
長期借入金の返済による支出	△335,216	△163,514
リース債務の返済による支出	△20,609	△27,175
自己株式の取得による支出	-	△191
配当金の支払額	△92,183	△101,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,008	△22,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,389	20,854
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,501	228,889
現金及び現金同等物の期首残高	1,086,446	862,341
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,103,948	1,091,230

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,219,768	1,133,272	139,305	4,492,346	-	4,492,346
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	3,219,768	1,133,272	139,305	4,492,346	-	4,492,346
セグメント利益又は損失 (△)	507,158	77,063	△70,405	513,816	△203,736	310,080

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リユース事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において5,220千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,380,756	1,179,620	147,754	4,708,131	-	4,708,131
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	3,380,756	1,179,620	147,754	4,708,131	-	4,708,131
セグメント利益又は損失(△)	554,484	83,262	△80,622	557,124	△195,165	361,958

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。